

[令和7年度事務事業]

Ⅰ. 基本情報										
事業の位置付け										
1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(3)多様性を尊重した教育の推進		
			有	取組の方向性	①個性や違いを認め自他ともに尊重できる心の育成					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.2		
			有	取組	睡眠教育・食育の推進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
2	関連計画			堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度			平成 27 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度		
4	実施根拠			教育基本法						
事業の概要										
5	事業の実施主体			本庁						
6	事業の対象			■堺市立全小中学校 ■指定校 2 小中学校 ※指定校は年度ごとに指定する。				対象数	単位	
								135	校	
7	事業の目的			■こどもの豊かな心の育成をめざし、小・中学校における道徳科の指導の充実を図り、家庭・地域と連携した豊かな体験と道徳科を関連づけた道徳教育を推進する。 ■小中9年間を見通し、地域の実態や課題に応じた継続性のある道徳教育を実施することで、将来に夢をもち、郷土を愛する心を育む。						
8	事業内容			指定校においては、以下の内容に取り組む。 （１）道徳教育及び「道徳科」の授業づくりや評価の充実に向けた研究及び実践 （２）全市に向けた公開授業研究会の開催 （３）地域人材を講師に招いたり、保護者とともに道徳教育に関する活動をしたりするなど、家庭・地域と連携した道徳教育の推進 （４）各小中学校において本市独自の道徳教材集「未来をひらく」を活用し、道徳科授業の充実を図る。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容			—						
9	主な支出先			講師謝礼金						
10	公民連携・協働事業			—						

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11	全国学力・学習状況調査質問紙調査において「自分にはよいところがある」と答えた児童生徒の割合	%	目標値	小89 中87	小90 中90	小90 中90	小93 中93
	実績値		小84.1 中83.3	小86.3 中85.6			
	達成率		小94.5 中99.2	小95.9 中95.1			
	当該指標を選定した理由	豊かな心の育成に向けては、「自尊感情の高揚」が求められているため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	■令和7年度90%に向けて段階的に目標値を達成するため、令和6年度の目標値を設定した。 ■「自分にはよいところがある」と回答した児童・生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	CBTによる堺市学習・生活状況調査において「学校のきまりを守っている」と答えた児童生徒の割合	%	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
			目標値	小90 中90	小90 中90	小90 中90	
			実績値	小89.8 中93	小86.0 中91.1		
		達成率	小99.8 中103.3	小95.6 中101.2			
当該指標を選定した理由	豊かな心の育成に向けては、「規範意識の醸成」が求められているため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	■令和6年度、中学校は目標値を上回ったが、高い目標値のため現状維持とした。 ■「学校のきまりを守っている」と回答した児童・生徒の回答数を全回答数で割る。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	豊かな心の育成事業	事業番号	038-046
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	632	583	1,297	832	1,242
	財 国支出金	632	583	1,297	832	1,242
	源 府支出金	0	0	0	0	0
	内 市債	0	0	0	0	0
	記 その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	4,050	4,050	4,200	4,200	4,350
15	年間経費（c）=(a)+(b)	4,682	4,633	5,497	5,032	5,592

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	事業費内訳	道徳教育推進指定校講師謝礼金	決算	212	0		決算			
			予算	368	0		予算			
	出張等旅費	R7	決算	309	0		決算			
		R8	予算	603	0		予算			
	道徳教育推進指定校消耗品	R7	決算	250	0		決算			
		R8	予算	258	0		予算			
	研修会場使用料	R7	決算	61	0		決算			
		R8	予算	13	0		予算			
		R7	決算				決算			
		R8	予算				予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	①	豊かな心の育成事業 実施校	校	135
	②	上記①にかかる年間経費	千円	4,633
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	34,319
	算出についての説明等			37,274

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・「豊かな心の育成事業指定校」の2校では、それぞれの地域の実態、課題を踏まえ、道徳教育の充実に係る取組を行い、ホームページや教育課程説明会等で広く取組について周知を図ることができた。 ・第9回堺市道徳教育研究大会では、参集・オンラインを併せたハイブリッド形式で大阪府内の小中学校に参加を呼び掛け、当日は約250名が参加し、全市に向けた取組の発信を組織的に行うことができた。 ・道徳科を要として学校全体で組織的に道徳教育を推進したことにより、活動指標・成果指標ともに高い達成率を得ることができた。また、「近所の人にあった時はあいさつをする」「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」と答えた児童生徒の割合は、小中学校ともに昨年度の結果を上回る結果となった。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・各校における「特別の教科 道徳」の充実を図り、また家庭・地域と連携しながら、学校活動全体を通してこどもの豊かな心を育む道徳教育を推進した。堺市基本計画2025のKPIである「自分にはよいところがある」「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合は、小中学校ともに高い水準を維持している。 ・道徳教育推進研修において、授業力向上に係る実践的な内容や小学校教員・中学校教員によるグループワークを行うことで、9割以上の参加者から肯定的な回答を得られた。また、その内容を各校にて周知し授業力向上の推進を図っている。 ・今後、児童生徒の心の育成や道徳教育のさらなる充実に向けて、継続して小・中学校一貫した道徳教育や全ての教員の道徳授業の指導力向上につながる研修の実施、各学校における家庭・地域と連携した道徳教育の推進を図る。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	・「豊かな心の育成事業指定校」では、それぞれの地域の実態、課題に合わせて、道徳教育の充実に係る取り組みを行った。様々な実践、研究を積み重ねることで、思いやりや自己肯定感など、こどもたちの豊かな心が育まれた。併せて、職員室等で道徳について語り合い、こどもや教材に真摯に向き合う学校風土が醸成された。 ・「CBTによる堺市学習・生活状況調査」「全国学力・学習調査」では、設定したすべての項目、学年において、高い水準を維持している。
	有効性	■ 高い □ 低い	